"アルビクス"「パカパカ」チェッカー VAD-300

V/A ERROR DETECTION UNIT VAD-300

管理運用ソフトウェア

取扱説明書 Ver2,08



1. 概要	2
2. 画面機能	
0 1 メイン画面	9
2.2 ノスノムIFHIXXE	7
	8
2.5 マスク値設定	15
2.6 アラームログ設定	
2.7 アラーム音設定	
2.8 映像キャプチャ設定	
2.9 ログ設定	
2.10 ログ検索	
2.11 ログ削除	
2.12 測定レベル参照	
2.13 アラーム状態参照	
2.14 しきい値状態参照	
2.15 システムログ参照	
2.16 VAD時刻参照	
2. 17 VADバージョン	
2.18 映像キャプチャ関連画面	
2.19 バトフイト関連 2. 19 パトフイト関連 19 パトフィート 2. 19 パトフィート 2. 19 パトフィート 2. 19 パトフィート 3. 19 パトライト 3. 19 パトライト 3. 19 パトライト 3. 19 パトライト 3. 19 パート 3. 19 パート 3. 19 パート 3. 19 パート 3. 19 パート 3. 19 パート 3. 10 パート 3. 1	
2. 20 ノアイル管理画面	
2.21 時刻網圧画面	
2. 22 期作七一ト設定画面	
3. 映像キャプチャ ソフトウェア	40
3. 1 概要	40
3.2 推奨動作環境	40
3. 3操作説明	
3. 4 アプリケーションエラー	
4 補足説明	43
0. 員科	40
5. 1 設定ファイル	
5.2 初期設定値	
6. 検知作業手順	
6. 1 検知作業手順(バンク検知モード)	51
6.2 検知結果の保存	
6.3 検知結果の閲覧	

本書は「パカパカ」チェッカー(VAD-300)に添付されるソフトウェアについての取り扱いについて説明するものです。

ハードウェア(VAD-300)の取り扱いについてはハードウェアの取り扱い説明書を参照してください。

項目	制限条項
CPU	Intel Pentium4 以上(AMD 製 CPU での動作は未確認です)
OS	Windows XP SP2 以上(SP1 では動作しません)
	また、他OS での動作は未確認です)
メモリ	1GByte 以上
HDD	回転速度 7200rpm 以上
モニタ	XGA (1024*768) 以上
インタフェース	USB2.0 必須

<u>推奨環境</u>

システム構成





VAD-300は最大10台まで1台のPCで運用可能(条件有り)

※VAD-300 複数台接続時はキャプチャ機能1台のみ実行可能(選択制) ※動作モードがバンクモード時、接続台数は1台固定(チャンネル1のみ有効となる) ※動作モードが送出検知モード時のみ最大10台まで接続可能

2. 画面機能

「パカパカ」チェッカーソフトウェアの機能について、画面をベースに説明します。

2.1 メイン画面

ソフトウェアを起動した時に表示されます。



検知停止 をクリックする事により監視を停止します。

- ② 監視チャンネル表示ボタンはエラーの発生状況をサマリ表示します。クリックする事で確認動作となり、フリッカ を 停止します。監視チャンネル表示ボタンをクリックする事により、連動して監視チャンネルログ及びエラー発生状況 グラフが表示されます。
- ③ タブ自動切替停止チェックはチェックを入れる事によって、エラー発生時に自動的に該当チャンネルを表示する措置 を停止します。チェックを入れていないときは、エラー発生時に自動的に該当チャンネルが表示されます。

- ④ ステータスバーには Sync の状態、VITC の有無、VITC の状態、AVI フォルダを指定しているドライブの残容量を表示します。
- ⑤ 設定情報

監視しきい値設定(P.8)で設定された情報が反映されています。数値をダブルクリックすることにより、監視しきい値設定画面(P.8)が開き、設定することができます。

⑥ キャプチャプレビューボタンの機能 検知中/停止中にいずれの時にもキャプチャソース映像を確認する事ができます。

キャブチャブレビュー ボタンをクリックする事により、現在の映像が別ウィンドウに表示されます。 表示ウィンドウは表示開始から 30 秒後に自動的に消去されます。

- ⑦ ログの行部分をクリックして選択後 Delete キーを押すと、該当行のログと関連する AVI ファイルを削除します。 (CSV に書き込んだログは削除されません。)
- ※1)チャンネルボタンの色変化について チャンネルボタンはエラーの発生状況、確認の状況により変化します。 以下に状況別チャンネルボタンの一覧を示します。

チャンネルボタン	動作	内容
パカパカ1	連続点灯	エラーが発生していない正常な状態です。
パカパカ1	フリッカー	エラーが発生し、未確認の状態です。 この状態の時に確認を行うと赤連続点灯に変化します。
パカパカ1	連続点灯	エラーが発生した後の確認済み状態です。
パカパカ1	フリッカー	エラーが発生し、確認を行う前にエラーが復帰した時の状態です。 この状態での確認実行は以下の条件で移行が異なります。 ・他エラーが残っていない時 → 緑連続点灯 ・他エラーが残っている時 → 赤連続点灯

表2.1-1 状況別チャンネルボタン一覧

※2) ミュート動作について

エラー発生/回復の通知を任意で停止する事ができます。

実行方法は監視チャンネルボタンの上部四角形をダブルクリックする事で設定/解除となります。



上記例では「パカパカ1」、「パカパカ2」にミュートをかけたところです。

ミュートをかけたことにより、「パカパカ1」、「パカパカ2」ではエラーの発生/回復が通知されなくなります。 「パカパカ3」、「パカパカ4」についてはエラー通知が行われます。

ミュートの解除時はアラーム状態を一度クリアし、最新状態をVAD-300より取り込みます。

2. 2 システム情報設定

Г

監視を行うチャンネル数の設定とハードウェア本体との通信を行うためのコミュニティ名称設定を 行います。

定し ログひ システム設定(E 監視しきい値設	0 情報参照(W) 時刻(V) ヘルプ(Y) システム情報設定(Z) 安定(S) VAD-IPアドレス設定(V)
	システム情報設定
	監視チャンネル数設定 監視チャンネル数 10 ▼
	SNMPコミュニティ設定 コミュニティ public
	OK キャンセル

監視するチャンネルを変更した場合、メイン画面の表示は自動的に新設定のチャンネル表示に変わります。

SNMPコミュニティ設定は必要な時以外は変更しないでください。変更が必要な場合はハードウェアの設定も同時に変更してください。ハードウェアの設定と一致していないと通信が行えません。 デフォルトの設定は「public」です。 2.3 VAD-IPアドレス設定

影

監視を行うチャンネルに対応したハードウェアのIPアドレス及び、メイン画面上に表示するチャンネル名称 を設定します。

定(U) ログ(V) 情報 システム設定(B) 監視しきい値設定(S)	服参照(₩) 時刻(½) ヘル ▶ システム情報設定(2) VAD-IPアドレス設定(7W V	
	VAD-IPアドレス設	定	×
	名称	 IPアドレス	Т
	パカパカ1	192.168.200.254	-
	パカパカ2	192.168.200.255	
	パカパカ3	192.168.200.256	
	バカバカ4	192.168.200.257	
			_
			_
			_
		OK ++>1	216

名称を変更する場合は変更したい名称欄をダブルクリックして編集状態にしてください。

IPアドレスの変更時も同様の操作で編集が行えます。

IPアドレスの入力方法は「.」を含んで「192.168.200.254」のように入力して下さい。

名称の変更について ··· この画面で名称を入力しても | Pアドレスを入力しないと画面上には反映 されません。(Pアドレスが存在しないチャンネルは監視対象としないため)

2. 4 監視しきい値設定

ハードウェア本体に対し、エラー検知を行うための各種設定を行います。

2.4.1 監視しきい値設定一覧画面

設定(U) ログ システム設定 監視しきいが	ブ√) ≧(R) 直設定	情 (S)	服参 則 ▶																											
監視しきい値	設定																													×
名称	111	112	121	122	131	132	143	151	152	153	161	162	163	170	211	212	221	222	231	232	241	242	251	252	261	262	271	272	281	2
バカバカ1	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
パカパカ2	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
パカパカ3	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
パカパカ4	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
	246	8	10	20	246	8	20	25	25	20	1	1	1	30	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	45	5	4
<																														≻
																												閉じる	5)

この画面上で設定を行いたい「行」をダブルクリックすると次ページに示す入力画面が表示されます。 なお、選択を行った後、右クリックする事によりポップアップメニューが表示されます。これにより 設定値を一括でコピーする事が可能です。以下に実行方法を示します。

①コピー元の行を選択する
 ②右クリックで行コピーを選択する
 ③コピー先の行を選択する
 ④行ペーストを選択する

行ペーストメニューを選択すると以下の確認ダイアログが表示されますので実行可否を選択してください。



⑤右クリックによるポップアップメニューにはデフォルト設定に戻すメニューがあります。

このメニューの機能は、ハードウェアの設定値を出荷時状態に戻すものです。以下に選択時の確認ダイアログを示します。



2. 4. 2 監視しきい値設定入力画面

監視しきい値設定一覧画面の行部分をダブルクリックするか、メイン画面の設定情報の数値部分をダブルクリックする と本画面が開きます。

(1) [輝度/色差レベルタブ]

監視しきい値設定「パカパカ1]	×
【輝度/色差レベル】 バカバカエラー 音声エラー 通知とタイムコード バカバカ回数ボーダー設定 エラーマーカー設定	
輝度レベルエラーを検知する最大値のしきい値 246 [入力範囲:0~255 標準値=246]	
輝度レベルエラーを検知する最小値のしきい値 8 [入力範囲:0~255 標準値=8]	
一色差レベル設定	
色差レベルエラーを検知する最大値のしきい値 246 [入力範囲:0~255 標準値=246]	
色差レベルエラーを検知する最小値のしきい値 8 [入力範囲:0~255 標準値=8]	
更新 閉じる	J

ハードウェア本体で検知する輝度/色差レベルのしきい値を設定します。

・輝度レベル設定

①輝度レベルエラーを検知する最大値	•••	この値を超えると輝度レベルエラーとなります。
②輝度レベルエラーを検知する最小値	•••	この値を下回ると輝度レベルエラーとなります。

・色差レベル設定

①色差レベルエラーを検知する最大値	•••	この値を超えると色差レベルエラーとなります。
②色差レベルエラーを検知する最小値	•••	この値を下回ると色差レベルエラーとなります。

監視しきい値設定 [パカパカ1]		
輝度/色差レベル パカパカエラー 音声エラー	通知とタイムコ	コード「バカバカ回数ボーダー設定」エラーマーカー設定」
バカバカA 輝度信号レベル差[標準値=10] 小 検知面積[標準値=25] 25 9% 回数[標準値=1] 1 9 回	大 10 %	バカバカB 輝度信号レベル差[標準値=20] 小 大 20 % 検知面積[標準値=25] 25 % 回数[標準値=1] 1 □
パカパカ赤 赤レベル差[標準値=20] 小 検知面積[標準値=20] 20 🔮 %	大 20 %	その他バカバカ設定 設定値以上の期間、バカバカがないとエラー復帰とします。 バカバカ無しを検知するフィールド数 30 💙 [標準値=30]
□数[標準値=1] 1 ∨ □		

更新

閉じる

ハードウェア本体で検知するパカパカエラーのしきい値を設定します。

・パカパカA

①輝度信号レベル差		元の輝度に対してここで設定する(%)を超えた時にパカパカAエラー とします。
②検知面積	•••	パカパカAエラーを検知する面積を全体に対する(%)で設定します。
・パカパカB		
①輝度信号レベル差		元の輝度に対してここで設定する(%)を超えた時にバカバカBエラー とします。
②検知面積	•••	パカパカBエラーを検知する面積を全体に対する(%)で設定します。
・パカパカ赤		
①赤レベル差	•••	元の赤レベルに対してここで設定する(%)を超えた時にパカパカ赤エラー とします。
②検知面積		パカパカ赤エラーを検知する面積を全体に対する(%)で設定します。
・その他のパカパカ設定		パカパカエラー回復とするフィールド数の設定 ここで設定したフィールド数以上の期間、パカパカがなければ回復とする。

監視しきい値設定 [パカパカ1]	
「輝度/色差レベル「バカバカエラー「音声エラー」通知とタイムコ	コード「バカバカ回数ボーダー設定」エラーマーカー設定」
┌─音声エラー設定	
Ch1レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch1レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🗸 -dB
Ch2レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🔽 -dB	Ch2レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🔽 -dB
Ch3レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🔽 -dB	Ch3レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🔽 -dB
Ch4レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch4レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🛛 🗸 -dB
Ch5レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch5レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🛛 🗸 -dB
Ch6レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch6レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🛛 🗸 -dB
Ch7レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch7レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🛛 🗸 -dB
Ch8レベルエラーを検知する最小値のしきい値 45 🗸 -dB	Ch8レベルエラーを検知する最大値のしきい値 5 🔽 -dB
Ch1検知設定 ON 🗸	Ch5検知設定 OFF V
Ch2検知設定 ON V	Ch6検知設定 OFF V
Ch3検知設定 OFF V	Ch7検知設定 OFF v
Ch4検知設定 OFF 🗸	Ch8検知設定 OFF V
	更新開じる

・音声レベルエラー検知			
①音声レベルエラー検知最小値しきい値	•••	ここで設定した値(-dB)	を下回った時に音声レベルエラー
		とします。	
②音声レベルエラー検知最大値しきい値	•••	ここで設定した値 (-dB)	を上回った時に音声レベルエラー
		とします。	

③音声検知設定 ・・・ 音声チャンネルの検知を行うかどうかを設定します。

(4) [通知とタイムコードタブ]

監視しきい値設定【パカパカ1】		
「輝度/色差レベル バカバカエラー 音声コ	エラー 【通知とタイムコード】 バカバカ回数ボーダー設定 エラーマーカー設定	
その他設定		
Traplこよる通知を行うかどうか	行う	
HD-SDI入力時のタイムコード選択	LTC	

・その他の設定

 ①Trap による通知を行うかどうか
 ・・・ 行わないとした場合、ハードウェア本体からの通知が一切行われなくなります。(監視が行えなくなります)

 ②HD-SDI入力時のタイムコード選択
 ・・・ HD-SDI入力時の使用タイムコードをLTCまたはVITCから選択します。

(5) [パカパカ回数ボーダー設定タブ]

監視しきい値設定 [パカパカ1]	×
「輝度/色差レベル「バカバカエラー」音声エラー「通知とタイムコード」バカバカ回数ボーダー設定」エラーマーカー設定	
「バカバカ回数ボーダーの設定」	
メイン画面のグラフ上に表示するボーダーラインを設定します。 このボーダーラインを超えたエラーを通知対象とします。	
パカバカA回数ボーダーライン 5 💌 回	
パカバカB回数ボーダーライン 3 🔽 🖸	
バカバカ赤回数ボーダーライン 3 💙 回	
更新 閉じる)

・パカパカ回数ボーダーの設定 ①パカパカA回数ボーダーライン設定	 ・・・ メイン画面のグラフ上に表示するボーダーの回数を設定します。 この設定を上回った時にログの表示、キャプチャの実行が行われます。 この設定回数以下のときはグラフ上に表示が行われるのみとなり、 ログの表示、キャプチャの実行は行われません。
②パカパカB回数ボーダーライン設定	 ・・・ メイン画面のグラフ上に表示するボーダーの回数を設定します。 この設定を上回った時にログの表示、キャプチャの実行が行われます。 この設定回数以下のときはグラフ上に表示が行われるのみとなり、 ログの表示、キャプチャの実行は行われません。
③パカパカ赤回数ボーダーライン設定	 ・・・ メイン画面のグラフ上に表示するボーダーの回数を設定します。 この設定を上回った時にログの表示、キャプチャの実行が行われます。 この設定回数以下のときはグラフ上に表示が行われるのみとなり、 ログの表示、キャプチャの実行は行われません。

更新ボタンをクリックする事によって記憶、反映されます。

監視しきい値設定「パカパカ1]	<
「輝度/色差レベル」パカパカエラー「音声エラー」通知とタイムコード」パカパカ回数ボーダー設定 エラーマーカー設定	
エラーマーカー設定	
AVIファイル中のエラーマーカー表示を制御します。	
マーカーON 🔽	
更新 閉じる	

・エラーマーカー表示の設定 ①エラーマーカー表示設定

①エラーマーカー表示設定 ··· キャプチャ映像上にエラー発生地点の表示を行います。 以下にエラーマーカー表示の例を示します。



上部の赤ラインはエラー発生を示し、下部の3種類のラインはエラーの種類 を現します。

左側からパカパカAエラー、パカパカBエラー、パカパカ赤エラーに対応 します。

更新ボタンをクリックする事によって記憶、反映されます。

2.5 マスク値設定

通常エラーに対し、通知を抑制する時間を秒単位で設定します。 のを設定した場合は通知が行われません。また、VITCに関する項目はOで通知しない、O以外で通知すると なります。

設定(U) ログ(V)	'情報	₿ ◆ ₽														
システム設定(<u>P</u>)		•														
監視しきい値設定 マスク値設定(T)	E(<u>S</u>)		L													
マスク設定																X
														設定		
Ch'情報	5110	0 51101	51102	51210	51211 512	12 51220	51221	51222	2 51223	5211	0 5211	52112	2 52110	エラー種別	エラー詳細	時間(秒)
パカパカ1	1	1	1	1 4	40 40	1	40	40	40	1	30	30	30	映像ステータス(Image)	ブラック	40
	1	1	1	1 (0	1	0	0	0	1	0	0	0	映像ステータス(Level)	<u> </u>	40
	1	1	1	1 () ()	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Ch1ステータス		
	1	1	1	1 1) ()	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Ch2ステータス		
	1	1	1	1 1	J U	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Uh3スナータス 辛吉Ch4フニータス		
	-	1	1	1 1	J U	1	0	0	0	1	0	0	0	自声014人ナーダ人 卒吉045フテータス	L	
	1	1	1	1 1	J U D C	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Onio人ナーダ人 辛害Cb6フテータフ	王 王 王王	
	1	1	1	1 1) ()) ()	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Ch0入 / スペ 音声Ch77テータ7	SC#/1	
	1	1	1	1	, 0 1 0	1	0	0	0	1	0	0	0	音声Ch8ステータス		
2							0	0	0		0	0	>	音声Chil/Ch2フェーズ		
														音声Ch3/Ch4フェーズ		
設定値を印にするとそのこ	ロラー項	目に関	しては監	観を行い	はせん。									音声Ch5/Ch6フェーズ		
VITC項目は0で通知を行	iわない	、叫以外:	で通知る	を行うとな	心ます。									音声Ch7/Ch8フェーズ		
														VITCの有無		
														VITCの状態		
														,		
																閉じる

①設定を行いたいチャンネルを左側の表内で選択、または、行を選択後、右クリックするとポップアップメニューが表示されます。メニュー内の行コピーを選択すると選択行の内容を一時記憶し、行ペーストが実行可能となります。行ペーストの実行方法はペーストしたい行を選択後、ポップアップメニューから行ペーストを実行します。 行ペースト実行時には以下に示す確認ダイアログが表示され、実行をクリックでHDDへの保存が行われます。

暗認	×
2	マスク設定値をペーストします。 実行時にはHDDへの保存が行われます。 実行する場合は「はい」をクリックしてください。
	<u>はい</u>

②選択チャンネルの情報が右側「設定」枠内に表示されます。

③「エラー種別」項目を選択すると「エラー詳細」項目が表示されます。

④変更したい「エラー詳細」項目をダブルクリックすると編集状態になりますので設定したい数値を入力して下さい。

※数値設定後、更新ボタンをクリックせずにエラー種別を変更した場合は更新が行われておりません。 設定終了後は必ず更新ボタンをクリックするよう注意してください。

2.6 アラームログ設定

ログ表示に使用する文字列及び色を設定します。

設定(U) ログ(V) 情報	報参照					
システム設定(R)	•					
監視しきい値設定(S) マスク値設定(T)						
アラームログ設定(U)						
アラームログ設定						
					≠ 二.ħ.☆	
名称	項目1	項目2	項目3			
エラー時VITC値				項目名	表示文字列	
Sync状態	5251になりました	1080i になりました	同期がありません	525i	525i になりました	
映像ステータス(Image)	映像(Image) 回復しました	映像ブラックです	映像フリーズです	1080i	1080i になりました	
映像ステータス(Level)	映像(Level) 回復しました	輝度レベルが異常です	色差レベルが異常です	同期断	同期がありません	
<u>音声Ch1ステータス</u>	音声Ch1ステータス 回復しまし	音声Ch1 無音です	音声Ch1 レベルが低下していま			
<u>音声Ch2ステータス</u>	音声Ch2ステータス 回復しまし	音声Ch2 無音です	音声Ch2 レベルが低下していま			
<u>音声Ch3ステータス</u>	音声Ch3ステータス 回復しまし	音声Ch3 無音です	音声Ch3 レベルが低下していま			
<u>音声Ch4ステータス</u>	音声Ch4ステータス 回復しまし	音声Ch4 無音です	音声Ch4 レベルが低下していま			
<u>音声Ch5ステータス</u>	音声Ch5ステータス 回復しまし	音声Ch5 無音です	音声Ch5 レベルが低下していま		「東新」「お	はなおし
<u>音声Ch6ステータス</u>	音声Ch6ステータス 回復しまし	音声Ch6 無音です	音声Ch6 レベルが低下していま			
<u>音声Ch7ステータス</u>	音声Ch7ステータス 回復しまし	音声Ch7 無音です	音声Ch7 レベルが低下していま			
<u>音声Ch8ステータス</u>	音声Ch8ステータス 回復しまし	音声Ch8 無音です	音声Ch8 レベルが低下していま			
<u> 音声Ch1/Ch2フェーズ</u>	音声Ch1/Ch2 正相になりました	音声Ch1/Ch2 逆相になりました				
<u>音声Ch3/Ch4フェーズ</u>	音声Ch3/Ch4 正相になりました	音声Ch3/Ch4 逆相になりました				
<u>音声Ch5/Ch6フェーズ</u>	音声Ch5/Ch6 正相になりました	音声Ch5/Ch6 逆相になりました				
音声Ch7/Ch8フェーズ	音声Ch7/Ch8 正相になりました	音声Ch7/Ch8 逆相になりました				
<u>VITCの有無</u>	VITCありです	VITCなしです				
<u>VITCの状態</u>	VITC状態は正常です	VITC状態はTC 不連続です				
パカパカA VITC値						
バカバカA回数	パカパカAは回復しました	パカパカAが発生しました				
バカバカB VITC値						
バカバカB回数	パカパカ日は回復しました	パカパカBが発生しました				
バカバカ赤 VITC値						
バカバカ赤回数	パカパカ赤は回復しました	パカパカ赤が発生しました				
			>			
						閉じる

①左側表内をクリックしてエラー種別を選択します。

- ②右側「アラームログ表示設定」枠内に現在設定されている文字列が表示されます。
- ③右側「アラームログ表示設定」の表示文字列欄をダブルクリックすると編集状態となりますので、設定したい 文字列を入力して下さい。
- ④ログ表示の色を変更したい場合は変更したい項目をまずクリックし、右クリックするとポップアップメニュー が表示されます。メニューから(文字色変更)を選択してください。



6設定したい文字色をパレットから選択し、設定ボタンをクリックして下さい。

設定ボタンは確定の意味合いです。この更新を反映する場合はアラームログ画面の更新ボタンをクリックして ください。更新ボタンをクリックせずに別のエラー名称を選択した場合は変更されておりませんのでご注意 願います。やりなおしボタンは更新ボタンをクリックした後は無効となります。 更新ボタンをクリックする事によって設定が記憶、反映されます。

2.7 アラーム音設定

ばかばかエラー発生時にアラーム音を鳴らす事ができます。 必要のないときにはチェックを外すことにより、機能を解除する事ができます。 音声ファイルはwavファイル、MP3ファイル、WNAまたはWMVファイルが使用できます。

設定──□グ── 情報参照	
システム設定(型) ▶	フラーム登録会
監視しきい値設定(R) マスク値設定(S)	アラーム音設定 〇
アラームログ設定(①	□ アラーム音を鳴らす
アラーム音設定(U) キャプチャ設定への	参照 *.wav、*.mp3、*.wmaまたは*.wmvを選択してください。 再生開始 再生停止
	保存 閉じる

・アラーム音設定

アラーム音を鳴らすチェック ・・・ チェックを付けることによりアラーム音鳴動状態となります。
 チェックを外した場合、アラーム音は鳴りません。

②音声ファイルの選択 ··· 「参照」ボタンをクリックします。 ファイル選択ダイアログが表示されますので音声ファイルを指定して下さい。

- アラーム音の再生
 「再生開始」ボタンをクリックしてください。
- ・アラーム音の再生停止 「再生停止」ボタンをクリックしてください。

設定が終了したら保存ボタンをクリックして下さい。

2.8 映像キャプチャ設定 映像キャプチャの設定を行います。この設定のメニューは検知停止中のみ選択できます。

設定(山) ログ(い) 情報参照	キャプチャ設定 🔀
 設定(U) ログ(V) 情報参! システム設定(Q) → 監視しきい値設定(R) マスク値設定(S) アラームログ設定(T) アラーム音設定(U) キャブチャ設定(V) 	キャブチャ設定 キャブチャチャンネル パカパカゴ ・
	

・キャプチャチャンネル

映像キャプチャを行いたいチャンネルを設定します。 キャプチャを行えるチャンネルは1チャンネルのみです。複数のチャンネルは同時にキャプチャを 行えません。

・キャプチャファイル保存フォルダ

キャプチャしたAVIファイルを保存するフォルダを指定します。 デフォルトフォルダは「C:¥AV¥」です。プログラム起動時にこのフォルダが存在しなかった時は 自動的に作成します。 ここで設定したフォルダ情報はキャプチャソフトウェアと共有されます。

・キャプチャフレームサイズ

160*120、320*240の2種類の中から選択します。 ここで設定したフレームサイズ情報はキャプチャソフトウェアと共有されます。

・キャプチャファイル保存上限個数設定

キャプチャファイルの保存上限の個数を設定します。設定単位は500ファイル単位で最大10000ファイル まで設定できます。上限に達した場合は新ファイル追加時に最古ファイルを自動削除します。 個数制限を行なわない時は[制限なし]を選択してください。 この設定は送出検知モード時で動作している時のみ有効で、バンク検知モードで動作している時は無視 されます。 「ログ最大レコード到達時、・・・」にチェックを付けると、1チャンネルのログ件数が3万件を超え

最古ログを削除する時に、関連するAVIファイルも削除されます。チェックを外した場合、最古ログ削除時に 関連するAVIファイルは削除されません。 ・キャプチャソフトウェアの起動

キャプチャソフトウェアを起動します。キャプチャソフトウェアを任意に停止してしまった時に 実行してください。

設定の更新があった時はOKボタンをクリックして変更を記憶、反映してください。 (キャプチャソフトウェアの起動に関してはOKまたはキャンセル、どちらでも問題ありません) OKボタンのクリックによって、キャプチャソフトウェアへも通知が行われ、変更が反映されます。

2.9 ログ設定

CSV ログ保存機能に関する設定を行います。

設定(U)	ログシン 情報参照	
検知	ログ設定(公)	
	22 日2 款定	
	☑ログをファイルに保存する	
	保存フォルダ D.¥デバッグ環境¥mhomma¥ばかばか検知Ver2	選択
	OK	キャンセル

・ログ設定

①ログをファイルに保存するチェック ··· 発生ログを全てCSV ファイルに保存します。 通常はチェックを付けた状態で運用を行ってください。

②保存フォルダ ··· CSV ファイルを保存するフォルダを指定します。 デフォルトはプログラムのインストールフォルダが設定されています。

設定の更新があった時はOK ボタンをクリックして変更を記憶、反映してください。

2.10 ログ検索

指定した条件でログを検索します。

設定(U)	ログ(公) 情報参照
検知	□グ設定 ②
	ログ削除(Z) ・
	ログ検索
	検索Ch選択 バカバカ1 🔽
	検索開始日時 2007/04/11 10:52:23 📩 検索終了日時 2007/04/12 10:52:28 🛨
	検索条件設定(AND条件となります)
	□ キーワード(内容)指定
	▼パガパガA回数指定 1 回以上のログを抽出
	▼パカパカB回数指定 1 回以上のログを抽出
	▼パカパカ赤回数指定 1 回以上のログを抽出
	検索開始 キャンセル

・ログ検索

	①検索Ch選択	•••	検索を行う Ch を指定します。(必須)
	②検索開始/終了日時		検索期間の設定を行います。(必須)
Ľ	「降の条件はオプションとなり	ます。	先頭のチェックを付けることで有効となります。
	③キーワード(内容)指定		ログの内容欄の文字列を部分検索します。
	④パカパカA回数指定		パカパカAの回数を指定します。
	⑤パカパカB回数指定		パカパカBの回数を指定します。
	⑥パカパカ赤回数指定		パカパカ赤の回数を指定します。

上記オプションは①、②に対して全て AND 条件となります。

指定した条件で検索された結果は次ページで示す画面により表示されます。

ログ検索結果画面:

🏴 ログ検索結果 しくカ	🖉 ログ検索結果 [パカパカ1:2007/03/23 10:21:55 ~ 2007/05/24 10:21:54] 59件						
ファイル(Z)	77/1/2						
日付時刻	内容	タイムコード	グラフ	^			
2007/04/12 10:46:14	パカパカが発生しましたしいカパカ回数累計値の	99999999					
2007/04/12 10:46:14	パカパカが発生しました しくカバウ回歌集計値の	99999999					
2007/04/12 10:46:18	パカパカ6が発生しましたし、ケカバカ回動累計値(3)	99999999					
2007/04/12 10:46:18	パカパカが発生しました ひらからカ回動累計値の	99999999					
2007/04/12 10:46:29	パカ/ (カ8が発生しました D (カ) (5回)観察計値2)	99999999					
2007/04/12 10:46:29	パカ/ (カムが発生しました しくカ/ (方回数集計値2)	99999999					
2007/04/12 10:46:46	ノ行い(力Bが発生しました-D(力)(力回動累計値2)	99999999					
2007/04/12 10:46:46	パカパカが発生しました しくカバウ回歌集計値の	99999999					
2007/04/12 10:48:14	パカノカ赤が発生しました「ノウリノカ回酸累計値3]	99999999					
2007/04/12 10:48:14	/ 行い (力6が発生しました し (力) (力回動累計値・1)	99999999					
2007/04/12 10:48:14	パカパカが発生しました ひかい 方回数累計値2]	99999999					
2007/04/12 10:48:18	パカパカ赤が発生しましたり(カバカ回観集計値3)	99999999					
2007/04/12 10:48:18	パカノカのが発生しましたりパカロ酸果計値1	99999999					
2007/04/12 10:48:18	パカパカが発生しました ひかい カ回動累計値 ③	99999999					
2007/04/12 10:48:29	パカバカ赤が発生しました [パカパカ回説累計値2]	99999999					
2007/04/12 10:48:29	パカパカのが発生しました 1/ (カルパカ回被集計値1)	99999999					
				_			

・ファイルメニュー

1保存

・・・・検索された結果をファイル(CSV)に保存します。この時、フォルダ指定が可能です。
 保存時、解析用のファイルが生成され、同時に指定したフォルダに保存されます。
 実行時は保存時の注意ダイアログが表示されます(以下にイメージを示します)
 保存機能実行後のファイル取り扱いについては補足説明を参照してください。

確認	X
?	検索結果を保存します AVIファイルも保存対象となるため時間がかかる事があります。 保存を実行しますか?
	(はい公) いいえ(N)

- ②印刷 … 検索された結果を印刷します。
- キャプチャファイル再生 ・・・ ログの行部分をダブルクリックする事によりキャプチャされた AVI ファイル を再生する事ができます。(キャプチャファイル存在時のみ) 再生イメージはキャプチャ関連画面を参照してください。 再生対象の AVI ファイルが存在しない時はファイルを開けない旨、 ダイアログが表示されます(以下に画面イメージを示します)



ログ検索結果画面はESC キーで消去する事が可能です。

2.11 ログ削除

(1) 選択されたチャンネルのログ(データベース上のみ)の削除



削除されるのはデータベース上のログのみで CSV に書き込んだログ及び削除該当期間の AVI ファイルは 削除されません。

ログは各Chに於いてそれぞれ最大3万件保持可能で、3万件を超えた場合は最古ログを消去し、 最新データを追加していきます。

(2)システムログ(データベース上のみ)の削除 下記画面の「システムログ」クリアをクリックすると、全チャンネルのシステムログが削除されます。

設定(U)	עעם	情報参	箩照(₩)	時刻⊗	へルプピ
検知	ログ設 ログ検	定⊗ 索Ƴ	停」	E	
パカ	ログ削 バカエ	除(<u>Z</u>)	ト パカ シフ)パカ1 (<u>1</u>) (テムログク)	17(Z)

削除されるのはデータベース上のログのみでCSV に書き込んだログは削除されません。

2.12 測定レベル参照

ハードウェア上の測定レベルを参照します。

設定(U) ログ(V) 検知開始 パカパカ1	情報参照(W) 時 測定レベル参照(V) アラーム状態参照 アラーム状態参照 しきい値参照(Y) システムログ参照(
測定	<mark>ビレベル表示</mark> 要求を行うVADをj	選択してください パカパカ1	~	(要求実行)
	項度[加速] 項度] 項度 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定 一定	名称 レベル最大値 レベル最大値 レベル最大値 レベル最大値 Ch1レベル Ch2レベル Ch3レベル Ch4レベル Ch5レベル Ch6レベル Ch6レベル Ch6レベル Ch8レベル	値	
				閉じる

・要求を行いたいチャンネルを選択し、要求実行ボタンをクリックして下さい。 通信が正常に行われている場合はハードウェアからの応答が表示されます。通信異常の時は何も 表示されません。 2.13 アラーム状態参照

ハードウェア上のアラーム状態を参照します。

パカパカ1	システムログ参照(2)	
75-1	↓状態参照 要求を行うVADを選択してください パカ	(力1 🛛 🔽 要求実行)
	エラー時VITC値 エラー時VITC値 Sync状態 映像ステータス(Image) 映像ステータス(Level) 音声Ch1ステータス 音声Ch2ステータス 音声Ch3ステータス 音声Ch3ステータス 音声Ch5ステータス 音声Ch5ステータス 音声Ch6ステータス 音声Ch7ステータス 音声Ch7ステータス 音声Ch8ステータス 音声Ch8ステータス 音声Ch8ステータス 音声Ch8ステータス 音声Ch8ステータス	999999999 2 0
	音声Child Child J 1 人 音声Child Child J 1 人 音声Child Child J 1 人 音声Child Child J 1 人 での有無 VITCの状態 パカパカA VITC パカパカA 回数 パカパカB VITC パカパカB 回数 パカパカ赤 VITC	0 0 0 1 0 00000000 0 00000000 0 0 000000

・要求を行いたいチャンネルを選択し、要求実行ボタンをクリックして下さい。 通信が正常に行われている場合はハードウェアからの応答が表示されます。通信異常の時は何も 表示されません。

2.14 しきい値状態参照

ハードウェア上のしきい値状態を参照します。

	しきい値参照 🕐 🔜	しきい値参照		
(カバカ1	システムログ参照(型)			
		要求を行うVADを選択してください パカパカ1		Ŧ
			(值	_
		輝度レベルエラー最大しきい値	246	
		輝度レベルエラー最小値しきい値	8	
		パカパカA輝度信号レベル差%	10	
		バカバカB輝度信号レヘル差(%)	20	
		色差輝度レベルエラー最大しきい値	246	
		色差レベルエラー最小しきい値	8	
		パカパカ赤信号レベル差(%)	20	
		バカバカA検知面積(%)	25	
		バカバカB検知面積(%)	25	
		パカパカ赤検知面積(%)	20	
		パカパカA回数	1	
		パカパカB回数	1	
		パカバカ赤回数	1	
		バカバカ無し検知のフィールド数	30	
		音声Ch1レベルエラー最大しきい値	5	
		音声Ch1レベルエラー最小しきい値	45	
		音声Ch2レベルエラー最大しさい値	5	
		音声Ch2レベルエラー最小しさい他	45	
		音声Ch3レベルエラー嵌入しきい他	5	
		音声Ch3レベルエフー取小しさい他 安吉Ch4L avul エニ、母素にまいな	40	
		音声0.64レベルエフト取入しさい他	0	
		音声の14レベルエフー取小しさい他 空音の45レベルエラー最大しきい彼	40 E	
		自声Ch5レベルエノー取べしるい他 辛苦Ch5レベルエラー是小しきい値	45	
			5	
		音声Ch6レベルエラー最大しまい値	45	
		音声ChOレベルエラー最大しまい値	5	
		音声Ch7レベルエラー最小しまい値	45	
		音声Ch8レベルエラー最大にきい値	5	
		音声Ch8レベルエラー最小しきい値	45	
		音声Ch1エラー検知状態	0	
		音声Ch2エラー検知状態	0	
		音声Ch3エラー検知状態	1	
		音声Ch4エラー検知状態	1	
		音声Ch5エラー検知状態	1	
		音声Ch6エラー検知状態	1	
		音声Ch7エラー検知状態	1	
		音声Ch8エラー検知状態	1	
		Traplこよる通知	1	
		HD-SDI入力時のTC選択	0	
		エラーマー力表示選択	1	

・要求を行いたいチャンネルを選択し、要求実行ボタンをクリックして下さい。 通信が正常に行われている場合はハードウェアからの応答が表示されます。通信異常の時は何も 表示されません。

2.15 システムログ参照

ソフトウェア上で発生したシステムイベントログを参照します。 キャプチャソフトウェアからのメッセージも記録されます。

設定(U) ログ(V)	情報参照(₩)	時刻⊗	,
検知開始	測定レベル参 アラーム状態 しきい値参照	₩W 参照⊗ {M	
パカパカ1	システムログ参	▶照(Z)	

🖉 システムログ参照			×
日付時刻			^
2007/03/28 08:54:35	映像パカパカ監視 for VAD-300 ソフトウェアを起動しました		
2007/03/28 08:54:35	時刻設定が異常終了しました [ノ゙ナフレ゙ナフ1]		
2007/03/28 08:54:36	しきい M値設定が異常終了しました [パカパカ1]		
2007/03/28 09:00:04	ホストからの応答がありません		
2007/03/30 13:12:26	映像パカパカ監視 for VAD-300 ソフトウェアを起動しました		
2007/03/30 13:12:27	時刻設定が異常終了しました [ノ゙ナフレ゙ナフ1]		
2007/03/30 13:12:27	しきい Y値設定が異常終了しました [ノ゙ウフパカ1]		
2007/03/30 13:17:43	エラー検知を開始しました		_
2007/03/30 13:17:49	エラー検知を停止しました(発生中のアラームはクリアされました)		
			¥
<		>	:

2.16 VAD時刻参照

ハードウェア時刻の設定や確認を行えます。

發定(型) ■ 検知	ログ(公) 情報参照(W) 時刻(S) ヘルプ(Y) 開始 検知停」 VAD時刻(V)	
	VAD時刻設定·確認	×
	設定または確認を行うVADを指定して下さい VAD時刻の確認 確認 VAD時刻 PC 時刻 2007/10/19 14:47:18.4	
	VAD時刻の設定 時刻を設定してください 2007/10/19 14:47:00 🕂 設定	PCの時刻を設定
		閉じる

- ・VAD時刻設定確認
- ①VAD指定 … 設定/確認を行いたいチャンネルを指定して下さい。
- ②VAD時刻確認 ···· 確認ボタンをクリックすると指定したチャンネルのVADとPCの時刻情報が 表示されます。
- ③VAD時刻設定 ··· ハードウェア本体の時刻を設定できます。 設定には2種類あり、任意の時刻と現在のPC時刻を設定する事ができます。

2.17 VADバージョン

ハードウェア本体のバージョン情報を参照します。

設定(U) 検知	 開始	惜報参照(₩) ┃ 検知停」 1	時刻⊗	ヘルプ(<u>Y</u>) VAD/バー ソフトウェ	-ジョン₪ アバージョン(2)			
	VAD/	ージョンチェ	<u>ə</u> D					
	─VAI 確認	Dバージョンき 忍を行うVAD [。] [Fェックー を選択し 項目	てください	רלי עלי <i>ו</i> זרלי עלי ו		~ (確認
			ファーム	ウェアVer ニマソー	Ver 1	.10	_	
				ェア Ver ァームVer	Ver 1	.00	_	
		,						
								閉じる

・VADバージョン参照

①参照を行いたいチャンネルを選択し、確認ボタンをクリックします。

- ②バージョン欄にハードウェアのバージョン情報が表示されます。通信異常の時は何も表示されません。
- ・ソフトウェアバージョン参照
 ソフトウェアのバージョン情報が表示されます。



消去は画面をクリックして下さい。

2.18 映像キャプチャ関連画面

キャプチャ再生はメイン画面のグラフ欄に[■」があるログ行をダブルクリックする事により表示され、 同時に再生が行われます。

再生ファイルが存在しない場合はその旨ダイアログが表示されます。



・キャプチャファイルを再生する時に表示される画面

①遅く	•••	再生時のスピードを遅くする
2早く	•••	再生時のスピードを早くする
 ③通常 	•••	再生時のスピードを通常にする
④サムネイル表示	•••	再生中のAVIファイルをフレーム毎に表示する
		次ページに表示例を示します。

また、情報として、フレームサイズ、再生時間を表示します。

サムネイル表示例



- 表示 … 画面を閉じるメニューがあります。
- ・ 印刷 ・・・ 同時刻に発生したログ内容と共に AVI ファイルをフレーム毎に表示したサムネイルイメージ を印刷します。
 画像イメージをクリックすると水色の枠で囲まれた選択状態となり、その状態で印刷を行った 場合は選択された画像イメージのみが印刷されます。何も選択しなかった場合は全ての画像イメ ージが印刷されます。次ページにフレームを選択した状態の画面例を示します。
- 表示切替 ··· 表示サイズの切り替えが可能です。

※表示サイズによって以下の解像度より低い画面は、表示をはみ出します。

- [川]:SVGA(800×600 ドット)
- [中]:XGA(1024×768 ドット)
- [大]:SXGA(1280×1024 ドット)
- ・エラーマーカー … パカパカエラーを検知したフレームにはマーカーが記されます。



上部の赤ラインはエラー発生を示し、下部3種類のラインはエラーの種類を現します。 青ライン : パカパカ A エラー発生を表します。 黄色ライン : パカパカ B エラー発生を表します。 赤ライン : パカパカ赤エラー発生を表します。 画像イメージを選択した例 以下の状態でEP刷を行うと、水色ラインで囲まれた画像のみEP刷を行います。 選択を解除する場合は選択した画像を再度クリックします。



[※]サムネイル表示画面はESCキーで消去する事が可能です。

2.19 パトライト関連画面

エラー発生時にパトライトを連動させることが可能です。ここでいうエラー発生時とはメイン画面上の ログに表示されるタイミングのことを指します。

従って、通常エラーであればマスク値経過後、パカパカエラーであればフラッシュ回数がしきい値を超えた 場合の事をいいます。

本システムで使用可能なパトライトはパトライト社製の「PHN-3FB」及び「NHE-3FB」です。 上記以外のパトライトについては動作いたしませんので型番をご確認の上、ご使用願います。

パトライトの使用設定

パトライトを使用するためにはIPアドレス、ポート番号を設定する必要があります。 メニューより、「設定」→「パトライト設定」→「パトライト設定」と選択します。 以下の画面が表示されますので、パトライトのIPアドレスとポート、及びエラー発生時からの 自動停止時間を設定します。

設定(U)	טעט	情報参照(₩)	時刻⊗	ヘルプロ			
システム	設定(R)	・知停	i H				
監視しる	ぎい値設定	<u>E(S)</u>					
マスク値	:設定(T)	_					
アラーム	ログ設定(<u>U</u>)					
BEEP돝	設定(B)						
キャプチ	ヤ設定(⊻) ▶■#1字(₩)	184	った。 ライト設定の	0			
ファイル	管理⊗	- 75	一厶対応設				
		170					
	パトライ	ト設定					
							1
	/^/h	ライトのアドレ	スとボート				
	I	Pアドレス			ボート 10000		
	*3	変更した場合	は再起動力	Ñ必要です。			
	/î⊦	ライト自動停	上時間設定	Ē			
	7	8生から信止:	キでの絆線		5 秋		
	7	ETW.NAT'		1911	0 12		
		ライト動作誌) () () () () () () () () () (
			~~ 去占?武	<u> </u>	「実行」		
		ホタイ しまた しんしょう しんしょう しんしん しんしん しんしん あんしん しんしん しんしん あんしん しんしん しん	小点//// 苦占:13	□ □+	(X I)		
		緑点灯	緑点滅				
						++720	

また、この画面ではパトライトの手動動作試験が行えます。

選択したステータス状態を点灯/点滅させることができます。表示のクリアは自動停止時間で設定した時間後に行われます。またはパトライト本体についているクリアボタンを押下する事によってもクリアが 行えます。

パトライトのアラーム対応設定

個別のエラーについて、パトライトの動作を対応させることが可能です。



アフトム対応該定												👗
										設定		
Ch'情報	51100	51101	51102	51210	151211	5121	2 5122	20 5122	21 5122	エラー種別	エラー詳細	ランプとブザー
<u></u> パカパカ1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	映像ステータス(Image)	 ブラック	緑色占灯/ブザーな」。
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	映像ステータス(Level)		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch1ステータス		73U 📉 🚩
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch2ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch3ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch4ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch5ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch6ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch7ステータス		
	0	0	0	0	0	0	0	0	0	音声Ch8人ナータ人		更新したり直し
									>	音声Ch1/Ch2 Jェース		
										VITOの有無 VITOの計2版		
										V IVUV IVUVI ELEX		
												開じる

設定画面の操作は次の通りです。

- a)設定したいチャンネルを左側のチャンネル設定で選択する。 (左側欄を直接編集する事はできません)
- b)「詳細」欄のエラー種別を選択します。選択すると右側のランプとブザー欄に現在設定中の状態が表示 されます。
- c) ランプとブザー欄をクリックすると表示欄が選択コンボボックスに変わりますので選択肢の中から 選択を行ってください。
- d)選択が終わったら必ず更新ボタンをクリックして下さい。更新ボタンをクリックせずに他のエラー種別を 選択すると変更は保存されずにキャンセルされます。
- e)全ての設定が終了したら閉じるボタンをクリックして設定画面を消去します。

左側欄選択時に右クリックするとポップアップメニューが表示され、チャンネル単位でのコピー/ペーストが 行えます。

コピーは、コピーしたいチャンネルを選択し、右クリック→コピー。

ペーストは貼り付けしたい行を選択し、右クリック→ペースト。

ペースト時はペーストと同時にHDDに保存されますので更新ボタンをクリックする必要はありません。 ペーストを行ったチャンネルの設定を変更する場合は上記。a)~e)の手順で行ってください。

次ページにエラーの種類とパトライトの動作種類を記述します。

エラーの種類については以下の通りです。

- ・[映像]ブラック
- ・[映像]フリーズ
- ・[映像]輝度レベルエラー
- ・[映像]色差レベルエラー
- ・[映像]輝度&色差レベルエラー
- ・[音声]無音 ··· 1Ch~8Ch
- ・[音声]レベル低 ··· 1Ch~8Ch
- ・[音声]レベル高 ··· 1Ch~8Ch
- ・[音声]音声エンベデッドなし … 1Ch~8Ch
- ・[音声] 1kHz ··· 1Ch~2Ch
- ・[音声]逆相
- ・VITC の有無
- ・VITC の状態
- ・パカパカAの発生
- ・パカパカBの発生
- ・パカパカ赤の発生

パトライトの動作種類は以下の通りです。上記エラー1種類につき、以下の選択肢の中から1種類を 選択する事ができます。

・なし

- ・緑色点灯/ブザーなし
- ・黄色点灯/ブザーなし
- ・赤色点灯/ブザーなし
- ・緑色点滅/ブザーなし
- ・黄色点滅/ブザーなし
- ・赤色点滅/ブザーなし
- ・緑色点灯/ブザー1
- ・黄色点灯/ブザー1
- ・赤色点灯/ブザー1
- ・緑色点滅/ブザー1
- ・黄色点滅/ブザー1
- ・赤色点滅/ブザー1
- ・緑色点灯/ブザー2
- · 黄色点灯/ブザー2
- ・赤色点灯/ブザー2
- ・ 緑色点滅/ブザー2
- · 黄色点滅/ブザー2
- ・赤色点滅/ブザー2

※ブザー1は「ピー・ピー」、ブザー2は「ピピピ」音となります。

2. 20 ファイル管理画面

キャプチャしたファイルの削除管理を行います。この機能は検知を停止した状態でのみ選択できます。 削除は1ファイル毎または複数ファイル同時ともに行えますが、複数ファイルを選択した場合は内容確認が 行えません。

- 設定(U) □グ(V) 情報参!
システム設定(R) 🕨 🕨
監視しきい値設定(S) マスク値設定(T)
アラームログ設定(U)
BEEP音設定(B) キャプチャ設定(V) パトライト設定(W) ▶ ファイル管理(S)
[1ファイル選択時の画面]
M ファイル管理
ファイル(Z)
G61023102058.avi G61023140522.avi G6102404629.avi G61023102059.avi G61023142520.avi G6102404640.avi G61023102252.avi G61023142520.avi G6102404657.avi G6102310223102226.avi G61024094657.avi G61024094265.avi G61023102247.avi G61024094265.avi G61024094657.avi G61023102247.avi G61024094265.avi G61024094809.avi G61023102247.avi G61024094809.avi G61024094809.avi G61023102258.avi G61024094811.avi G61024094811.avi G61023102269.avi G61024092854.avi G61024094811.avi G61023102269.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G61023102268.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G61023102269.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G61023102269.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G61023102267.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G6102310267.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G6102310267.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G6102310267.avi G61024093058.avi G61024093058.avi G6102310267.avi G61024093058.avi <t< td=""></t<>
1時2日時:2005年10月24日 09時30分25秒

選択したファイルの作成日付、AVIフォルダ内に存在するファイル数、選択したファイル数がステータスバーに 表示されます。

ファイルの選択は1個または複数ファイルが選択できます。複数ファイルの選択方法はドラッグによる選択、 コントロールキーによる選択、シフトキーによる選択のどれかで行えます。

次ページに複数ファイルを選択したときの画面イメージを示します。

[複数ファイル選択時の画面]

🌌 ファイル管理					
ファイル(Z)					
ファイル (∠) 061023102058.avi 061023102059.avi 061023102226.avi 061023102226.avi 061023102226.avi 061023102227.avi 061023102241.avi 061023102258.avi 061023102242.avi 061023102258.avi 061023102268.avi 061023102268.avi 061023102268.avi 061023102427.avi 061023102427.avi 061023102427.avi 061023102441.avi 061023102441.avi 061023102457.avi 061023102607.avi 061023102603.avi 0610231028041.avi 061023102802.avi 061023102802.avi 061023102802.avi 061023102802.avi 061023102802.av	061023140532.avi 061023141127.avi 06102314127.avi 061023141227.avi 061023161625.avi 061024091931.avi 061024092825.avi 061024092825.avi 061024092853.avi 061024092853.avi 061024093025.avi 061024093025.avi 061024093025.avi 061024093025.avi 061024093025.avi 061024093025.avi 061024093227.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093225.avi 061024093254.avi 061024093427.avi 061024093427.avi 061024093425.avi 061024093425.avi 061024093425.avi 061024093425.avi 06102409365.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024094056.avi 061024	061024094629.avi 061024094641.avi 061024094657.avi 061024094658.avi 061024094809.avi 061024094810.avi 061024094811.avi 061024094812.avi			
061023140528.avi 061023140531.avi	061024094235.avi 061024094236.avi				
		87 ファイル	10		

複数ファイル選択時、作成日付は表示されません。AVIフォルダ内に存在するファイル数、選択ファイル数のみ 表示されます。

選択を行った状態で右クリックするとポップアップメニューが表示されます。 メニューは以下の内容があります。(メニューバーには削除メニューのみ存在します)

- ①内容確認 … 選択したファイルの内容をスケールダウンしたフレーム毎のイメージで確認できます。 ただし、複数ファイル選択している場合は選択できません。
- ②削除 ・・・ 選択したファイルを削除します。複数選択時も実行可能です。実行時には削除確認画面 (以下にイメージを示します)が表示されますので可否を選択してください。 削除後の復元はできませんので注意してください。



2.21 時刻補正画面

ソフトウェアが動作している PC の時刻補正を行う設定です。 以下の画面により設定します。

システム設定(P) ・ 監視しきい値設定(P) ・ アラームログ設定(U) ・ BEEP音設定(B) ・ キャブチャ設定(W) ・ アイル管理(W) ・ 時刻(楠正(Y) ・ ・ ・	設定(U) ログ(V) 情報参	時刻合わせ設定 🔀
 監視しきい値設定(2) マスク値設定(1) アラームログ設定(1) BEEP音設定(8) キャプチャ設定(2) パトライト設定(2) HTTPを使用して時刻合わせを行う(webサーバが必要です) webサーバのIPアドレス webサーバのIPアドレス ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	システム設定(配) 🕨 🕨	以下の方法で時刻を合わせます
アラームログ設定(U) BEEP音設定(B) キャブチャ設定(V) パトライト設定(W) アァイル管理(X) 時刻(補正(Y) Box (P)	監視しきい値設定(S) マスク値設定(T)	 NTPサーバを使用して時刻合わせを行う NTPサーバのIPアドレス 10.9.10.20
BEEP音設定(B) ***ブチャ設定(W) パトライト設定(W) * ファイル管理(A) ● 時刻(補正(Y) ● 時刻(補正(Y) ● (1日に2回) ● ● ●	アラームログ設定(U)	○ UTTPを使用して時刻合わせを行う(webせーごが必要です)
 時刻補正(Y) 以下の契機で時刻を合わせます ①1日に2回 ○ ● 時と ○ ● 時に合わせます ○毎日 ○ ● 時に合わせます ● 経過時間 1 ● 時間毎に合わせます ● 今すぐ時刻合わせを行う 前回時刻合わせ時刻: 	BEEP音設定(B) キャプチャ設定(V) パトライト設定(W) ト ファイル管理(2)	webサーバのIPアドレス
更新 開じる		以下の契機で時刻を合わせます ○1日に2回 0 ま 時と 0 ま 時に合わせます ○毎日 0 ま 時に合わせます ●経過時間 1 ま 時間毎に合わせます 今すぐ時刻合わせを行う 前回時刻合わせ時刻: 更新 閉じる

時刻補正の方法として2種類の中から選択します。時刻補正を行わない場合は「時刻合わせは行わない」を選択してください。

次に時刻合わせの契機についてですが、3種類の中から選択します。

今すぐ時刻合わせを行うボタンは選択された方法で時刻合わせを即時実行します。 設定後の時刻取得動作確認に使用します。 時刻合わせを行った後は「前回時刻合わせ時刻」の後に時刻合わせを行った年月日時分秒が表示されます。

設定を行った後は更新ボタンをクリックして保存してください。

2.22 動作モード設定画面

メイン画面のログ表示エリアをクリックした後、「CTRL+ALT+F9」キーを押下すると表示できます。

この設定では運用ソフトの動作を設定できます。 モードの違いはCSVファイルへの保存方法、検知動作開始時の作業名称の入力のみです。

動作モード設定
 動作モード設定 ● [送出検知モード] ● [バンク検知モード]
2番目の項目を選択した場合はチャンネル数は1固定となります 一設定値初期化 しきい値、マスク値を工場出荷時状態に戻します。
 ●パカパカ専用 ●パカパカ&通常エラー併用
OK キャンセル

動作モード設定

①送出検知モード

検知開始時に作業名称の入力は不要です。CSVファイルはログ設定で指定したフォルダ配下に 「[送出検知モード]」フォルダを自動作成しその配下に年、月単位で作成されます。

②バンク検知モード

検知開始時に作業名称の入力を促されます(以下にイメージを示します)

CSV ファイルはログ設定で指定されたフォルダ配下に「[バンク検知モード]」フォルダを自動作成し、 その配下に作業名称毎に作成されます。

また、ログ内容の先頭に作業名称が付加されますので、ログ検索時に作業名称で検索が行えます。 このモードを選択した場合は内部的に有効チャンネルが左側1チャンネルのみの固定となります。

※ 6. 検知作業の手順(P. 50) にて作業手順を説明します。

設定値初期化

監視しきい値、マスク値を工場出荷時の状態に初期化します。 設定を実行する場合は初期化実行ボタンをクリックして下さい。終了後はキャンセルボタンをクリックし、 画面を消去してください。

①パカパカ専用 ・・・ パカパカエラーのみを検知する状態に初期化します。

②パカパカ&通常エラー併用 ・・・ パカパカエラーと通常エラーを検知する状態に初期化します。

3. 映像キャプチャ ソフトウェア

3.1 概要

本ソフトウェアはエラー発生時刻を元に、パカパカエラー発生時の映像をキャプチャするソフトウェアです。 映像ソースはUSBデバイスより常時供給され、これをフレーム毎にメモリ上でバッファリングを行って います。キャプチャした映像はAVIファイルとして保存します。

ファイル名称は運用管理ソフトウェアからトリガとして受信し、保存先フォルダは管理運用ソフトウェアの設定ファイル(Fldetect.ini)を参照します。

また、AVIファイルのフレームレートについても160*120、320*240の2種類から選択する事が可能です。

フレームレートの選択は管理運用ソフトウェアからの設定で随時行えます。

- ※キャプチャ開始時間の「前2秒」はトリガを受信する時までに1秒前後の誤差があるため、誤差を許容する範囲で前2秒としています。
- 3.2 推奨動作環境

推奨動作環境を以下の表3.2に示します。

インタフェース	キャプチャデバイスとのインタフェース USB2.0
OS	Windows XP SP2
CPU	Pentium4 1.6GHz以上
RAM	1GByte以上
HDD	回転速度 7200rpm 以上
ディスプレイ	XGA(1024*768)以上
内部I/F	管理運用ソフトウェアとのインタフェース ローカル UDP を使用

表3.2 推奨動作環境

- 3. 3操作説明 以下に、アプリケーションの操作について説明をします。
- 3. 3. 1 アプリケーションの起動 運用ソフトウェアを起動すると、同時に本ソフトウェアも起動されます。 正常に起動すると、タスクトレイにアイコンが表示されます。



3.3.2 アプリケーションの終了

タスクトレイに表示されているアイコンに、マウスカーソルを移動させます。 カーソルをアイコン上に置いた状態で、マウス右クリックをすると、 ポップアップメニューが表示され、終了を選択します。



- 3.4 アプリケーションエラー 以下に、起動中のアプリケーションエラーについて説明します。
- 4. 1 USBデバイスがPCに接続されていない場合 アプリケーション起動時、USBデバイスがPCに接続されていない場合は 図3. 4. 1のバルーンヘルプを表示し、プログラムは終了します。



3. 4. 2 USBデバイスが取り外された場合

プログラム起動中に、USBデバイスが取り外された場合は 図3.4.2のバルーンヘルプを表示し、プログラムを終了します。



※注意: USBデバイスを外す場合は、管理運用ソフトウェアを「検知停止」にしてから行ってください。 「検知停止」をしないでUSBデバイスを外した場合は、正常にキャプチャされません。

3. 4. 3 HDD領域不足の場合

プログラム起動中に、HDD領域が不足した場合は運用管理ソフトウェアにHDD領域不足を通知し、 プログラムを終了します。

また、管理運用ソフトウェアもこの通知を受信した時に操作者に対しメッセージを表示し、 プログラムを終了します。

このメッセージが表示された時はHDDの容量確保、整理を行ってから再起動を行ってください。

4. 補足説明

 ログに付加される日付時刻について メイン画面のログに付加される日付時刻はPCの時刻が付加されます。
 通常アラームはマスク機能によって通知される時刻が変動しますのでログ通知時の時刻にプラスして 実際に発生した日付時刻をログ内容に記載しています。

以下に表示時の例を示します。

日付時刻付加例

2006/10/30 13:21:50 VITC/A照はTC 13理続です 2006/10/30 13:21:57 音声2Ch 音声エンペデッドがありません、【実発生時刻=2006/10/30 13:21:56】 ▶ 2006/10/30 13:21:57 音声1Ch 音声エンペデッドがありません、【実発生時刻=2006/10/30 13:21:56】

上記例では音声 Ch1 及び音声 Ch2 に音声エンベデッドエラー時のマスクが1 秒かかっており、エラーが継続しているため 13:21:56 にエラーが実発生したにもかかわらず、13:56:57 に通知が行われています。

4.2 マスク機能

通常エラー時、エラーの通知を設定した時間だけ抑制してから表示させることができます。 抑制を行う時間の設定はマスク設定画面で行います。 マスク機能の動作は以下の通りです。(VITC項目は秒設定ではなく抑制可否の設定です)

①マスク設定画面にて抑制を行いたいハードウェア、エラー項目を選択し、抑制時間(単位:秒)を 設定します。この画面では詳細項目を設定した後は必ず更新ボタンをクリックする事に注意してください。 更新ボタンクリックする事によりマスク設定値が有効となります。

②検知開始を実行し、ハードウェアからエラーが通知されると、該当のエラー項目に設定したマスク値 分だけ待ち合わせてから監視論理が実行されます。 なお、待ち合わせ時間中に該当エラーが回復した場合、エラーは通知されません。

以下にマスク機能の実行例を示します。

※ ブラックエラーマスク値2秒 で設定されていた場合



4.3 ハードウェアの時刻

ハードウェアは独自に時計機能を持っていますが、外部から設定を行わないと正しい時刻となりません。 運用ソフトでは常にハードウェアが正しい時刻を付加できるよう定期的にPCの内部時計を使用して時刻 合わせを行っています。

4. 4 ログ保存後のファイル取り扱い

ログファイルは保存先フォルダを指定する事が可能です。したがって、USBメモリ等に保存先を指定し、 保存ファイルを外部に持ち出して解析する事が可能となります。(XLSファイルを表示できるソフトが必要) 保存されたファイルは以下の通りとなります。

- ・ログCSVファイル(検索結果保存ログ)
- ・再生用AVIファイル
- ・表示用サムネイル画像(表示単位毎にフォルダ分け)
- ・表示用 HTML ファイル
- ・解析用プログラム(Analyzer.xls)

解析時は解析用プログラムを Microsoft Excel 等で起動する事により解析が開始されます。

以下に解析画面の例を示します。

🔊 Ar	alyzer.xls							
	A		В		С	D	JL	M 🔺
1								
2								
4					1			
5	8							
6								
7								
B Q	6						■ 運度A	
10								
11								
12	4						通常AL	м
13								
14								
16	2							
17								
18								
19	0							
20				-				
23								
25	File Oren			Zoom Ir	Zoor	n Out PageDown	PageUp	
26	File Open					11040 148		
27	C:¥Documents and	1 Settings¥mhonma¥デスクトッ	ブ¥新しいフォルダ (3)¥枝	検索結果_ばかばか1_200	61 030 1 20	000.csv	1/2	
29	日付時刻	内容		3	マイムコード	グラフ 作業	名 画像	
30	2006/10/30 12:00	101 <mark>alvix VITCなしです</mark>			999999999	alvix		
31	2006/10/30 12:00	:06 alvix VITCありです			1	alvix		
32	2006/10/30 12:00	(40 alvix VITCなしです			999999999	alvix		
33	2006/10/30 12:00	(46 alvix -VIICのツです 			00000000	alvix		
34	2006/10/30 12:01	100 alvix Who alvis が発生しまし	た「明誠回数累計値2]		999999999	alvix	画像	
36	2006/10/30 12:01	104 alvix 輝度フラッシュBが発生!	,主,た「明滅回数累計值2	1	9999999999	alvix	画像	
37	2006/10/30 12:01	104 alvix 輝度フラッシュAが発生い	ました [明滅回数累計値2]		999999999	alvix	画像	
38	2006/10/30 12:01	05 alvix 赤フラッシュが発生しまし	た[明滅回数累計値3]		99999999	alvix	画像	
39	2006/10/30 12:01	106 alvix 赤フラッシュは回復しまし	ite in the second s		0	alvix		
40	2006/10/30 12:01	106 alvix 輝度フラッシュBは回復し	しました		0	alvix		
41	2006/10/30 12:01	106 alvix 輝度フラッシュAlは回復U	よした		0	alvix		
42	2006/10/30 12:01	:26 alvix VIICのツです			0000000	alvix		
43	2000/10/30 12:01	140 alVix viitoなしてす Melaka Viito本はです			999999999	alvix		
44	2006/10/30 12:01	40 alvix whomシビッ -50 alvix WTCだは、空す			00000000	aivix abdv		-
I 4 4	▶ N\解析表示 / Read	/ GraphData / Sheet1 /		•				

キャプチャファイルの再生時は「画像」リンクをクリックする事によりブラウザが起動し、ブラウザ上でファイル再生、サムネイルの表示が行われます。

以下にイメージを示します。



「表示切替」ボタンはメディアプレーヤを消去します。印刷時等、メディアプレーヤを表示したくない時に 使用します。再度クリックする事によりメディアプレーヤが表示されます。 5.1 設定ファイル

運用ソフトウェアで使用する設定ファイルの種類と設定内容を説明します。 このファイルはソフトウェアで更新管理しますので手動で変更しないでください。

No.	ファイル名称	使用目的
1	AlmLog.csv	ログに表示するアラームログ文言の設定が保存されています
2	AlmLogColor.csv	アラームログ文言の色設定が保存されています
З	AlmSts.csv	エラーステータス表示のヘッダ情報を保存しています
4	AlmStsOID.csv	アラーム情報のOID 情報を保存しています
5	IP.csv	VAD-300のIPアドレスとチャンネル名称を保存しています
6	Level.csv	測定レベル表示のヘッダ情報を保存しています
7	LevelOID.csv	測定レベル表示の OID 情報を保存しています
8	MaskSet.csv	マスク設定情報を保存しています
9	PatAlarmSet.csv	アラーム別のパトライト動作を保存しています。
10	shikii.csv	しきい値設定情報を保存しています
11	shikiiOID.csv	しきい値設定の OID 情報を保存しています
12	StsDisplayOlD.csv	内部使用しているアラーム監視用データを保存しています
13	TimeOID.csv	時刻設定用 OID 情報を保存しています
14	VerOID.csv	バージョン参照用 OID を保存しています

使用CSV ファイル一覧

<u>使用 ini ファイル(FIDetect.ini)内容説明</u>

セクション名	キー名	内容
ChannelCount	ChannelCount	運用ソフト上の監視対象チャンネル数
SYSTEM	DBG	デバッグモード O:運用モード 1:DBG モード
	CAP	キャプチャ機能使用 O:キャプチャ機能なし 1:キャプチャ機能有り
	PatLight	パトライト O:使用しない 1:使用する
	TimeSet	PC時刻補正 0:行わない 1:行う
	Community	SNMP コミュニティ文字列
LogSetting	Log_ChkBox	ログの保存可否 0:保存しない 1:保存する
	Log_RadioGroup	未使用(1:固定)
	Log_Folder	ログを保存するフォルダ
ReadSetting	Read_ChkBox	未使用(O:固定)
Mode	Mode	運用モード O:送出検知モード 1:バンク検知モード
CountBorder	KidoA	パカパカ A グラフ表示のボーダー回数設定
	KidoB	パカパカ B グラフ表示のボーダー回数設定
	Aka	パカパカ赤 グラフ表示のボーダー回数設定
AVI	Ch	キャプチャを実行するチャンネル番号
	FrameSize	キャプチャのフレームサイズ 0:160*120 1:320:240(キャプチャソフト
		も参照
	FileCount	未使用(O 固定)
	Folder	AVIファイルを保存するフォルダ(キャプチャソフトも参照
アラーム	CheckBox	アラーム音を鳴動可否 0:鳴らさない 1:鳴らす
	Freq	アラーム音のベース周波数
	Duration	アラーム音を鳴らす時間(1 固定)
PatLight	P	パトライトのPアドレス
	Port	パトライトのポート番号
	Time	パトライトの動作継続時間

セクション名	キー名	内容
Time	RadioBtn1	NTP サーバを使用して PC 時刻補正 O:行わない 1:行う
	RadioBtn2	HTTP を使用して PC 時刻補正 0:行わない 1:行う
	RadioBtn3	PC時刻補正 O:行う 1:行わない
	Edit1	NTPサーバのPアドレス
	Edit2	Web サーバの URL または IP アドレス
	Edit3	Web サーバのポート番号
	RadioBtn4	時刻補正の契機1日2回 0 行う 1 行わない
	RadioBtn5	時刻補正の契機1日1回 0:行う 1:行わない
	RadioBtn6	時刻補正の契機 経過時間 O: 行う 1: 行わない
	Spin1	時刻補正の契機1日2回の時間1
	Spin2	時刻補正の契機1日2回の時間2
	Spin3	時刻補正の契機1日1回の時間
	Spin4	時刻補正の契機 経過時間

Template.txt はブラウザ表示用のテンプレートファイルです。手動での削除、変更は行わないでください。 Cap.ini はキャプチャソフトウェアで使用します。手動での削除、変更は行わないでください。 動作不良の原因となります。

5.2 初期設定値

運用ソフトウェアのしきい値の初期値を表5.2-1に、マスク値の初期値を表5.2-2及び表5.2-3 に示します。

大項目	中項目	小項目	設定値
輝度色差レベル	輝度レベル	最大値	246
		最小値	8
	色差レベル	最大値	246
		最小値	8
パカパカエラー	パカパカA	輝度信号レベル差	10%
		検知面積	25%
		点滅回数	10
	パカパカB	輝度信号レベル差	20%
		検知面積	25%
		点滅回数	10
	パカパカ赤	輝度信号レベル差	20%
		検知面積	20%
		点滅回数	10
	パカパカ無しを検知するフ		300
	ィールド数		
音声エラー	Ch1	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	ON
	Ch2	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	ON
	Ch3	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
	Ch4	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
	Ch5	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
	Ch6	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
	Ch7	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
	Ch8	最小値	-45dB
		最大値	-5dB
		検知設定	OFF
通知とタイムコード	Trapによる通知		行う
	HD-SDI入力時	タイムコード選択	LTC
パカパカ回数ボーダー	パカパカA		50
	パカパカB		30
	パカパカ赤		30
エラーマーカー設定			ON

表5. 2-1 監視しきい値初期値一覧

中項目		設定値(秒)
映像ステータス(イメージ)	ブラック	0
	フリーズ	0
映像ステータス(レベル)	輝度レベルエラー	0
	色差レベルエラー	0
	輝度/色差レベルエラー	0
音声Ch1ステータス	無音	0
	レベル低	0
	しベル高	0
	無音エンベデッド無	0
	1kHz	0
音声Ch2ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
	1kHz	0
音声Ch3ステータス	無音	0
	レベル低	0
	 レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch4ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch5ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch6ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch7ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch8ステータス	無音	0
	レベル低	0
		0
	無音エンベデッド無	0
音声フェーズCh1/Ch2		0
音声フェーズCh3/Ch4		0
音声フェーズCh5/Ch6		0
音声フェーズCh7/Ch8		0
VITCの有無		1
VITCの状態		1

表5. 2-2 マスク値初期値一覧(パカパカ専用モード時)

表5.2-3 マスク値初期値一覧(パカパカ&通常エラー併用モード時)

大項目	中項目	設定値(秒)
映像ステータス(イメージ)	ブラック	40
	フリーズ	40
映像ステータス(レベル)	輝度レベルエラー	40
	色差レベルエラー	40
	輝度/色差レベルエラー	40
音声Ch1ステータス	無音	30
	レベル低	30
	レベル高	30
	無音エンベデッド無	30
	1 kHz	30
ーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーーー	無音	30
		30
	しべル高	30
	無音エンベデッド無	30
	1 kHz	30
音声Ch3ステータス	無音	0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
		0
音声Ch5ステータス	無音	0
		0
		0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch6ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch7ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声Ch8ステータス	無音	0
	レベル低	0
	レベル高	0
	無音エンベデッド無	0
音声フェーズCh1/Ch2		30
音声フェーズCh3/Ch4		0
音声フェーズCh5/Ch6		0
音声フェーズCh7/Ch8		0
VITCの有無		1
VITCの状態		1

6. 検知作業手順

6.1 検知作業手順(バンク検知モード)
 ※バンク検知モード設定は、2.22動作モード設定画面(P.39)をご参照ください。

1)	検知開始	ボタンをクリックして検知	作業を開始します。	
	※素材がきちんと2	、力されているかどうかは、	キャプチャプレビュー	 を押して確認することができます。

2) 下記のような作業名称設定画面が表示されますので、素材名称などを入力してください。

ŕ۴	業名称設定	X
	┌作業名称を入力して下さい (全角30文字まで)────	1
	honko	
	設定 キャンセル	J

3) 「設定」をクリックするとエラー検知が開始され、エラーログに下記のように作業名がスタンプされます。

日付時刻	内容	タイムコード	グラフ
2007/06/16 15:32:42	honko 映像(Image)回復しました [前状態=(99999999)映像ブラックです]	99999999	
2007/06/16 15:33:11	honko バカバカ赤が発生しました Dバカバカ回数累計値30	99999999	
2007/06/16 15:33:12	honko バカバカ赤は回復しました	99999999	
2007/06/16 15:33:15	honko パカパカ赤が発生しました Dパカパカ回数累計値2]	99999999	
2007/06/16 15:33:16	honko バカバカ赤は回復しました	99999999	
2007/06/16 15:33:26	honko パカパカ赤が発生しました D (カバカ回数累計値2)	99999999	
2007/06/16 15:33:27	honko バカバカ赤は回復しました	99999999	
2007/06/16 15:33:43	honko パカパカ赤が発生しました Dパカパカ回散累計値3]	99999999	
2007/06/16 15:33:43	honko パカパカAが発生しました D (カパカ回数累計値2)	99999999	
2007/06/16 15:33:45	honko パカパカ赤は回復しました	99999999	
2007/06/16 15:33:45	honko バカバカAは回復しました	99999999	
007/06/16 15:35:30	honko バカバカBが発生しました D (カバカ回数累計値2)	99999999	
2007/06/16 15:35:30	honko パカパカAが発生しました D (カバカ回数累計値2)	99999999	
2007/06/16 15:35:32	honko バカバカBは回復しました	99999999	
2007/06/16 15:35:32	honko バカバカAは回復しました	99999999	
2007/06/16 15:36:35	honka 映像ブラックです [実発生時刻 -2007/06/16 15:36:05]	99999999	



6.2 検知結果の保存

1)メニューの ログ → ログ検索 をクリックすると下記画面が表示されますので、 さきほど入力した作業名をキーワード指定の箇所に入力し、「検索開始」をクリックします。

-		18-118-14	
	グ検索		
	検索Ch選択 パカパカ1	✓	
	検索開始日時 2007/06/16 1	5:49:17 🗧 検索終了日時 2007/06/16	15:57:44 🛨
	─検索条件設定(AND条件とな	Jます)	
	▼キーワード(内容)指定	honko]
	✓バカバカA回数指定	1 回以上のログを抽出	
	✓バカバカB回数指定	1 回以上のログを抽出	
L	✓バカバカ赤回数指定	1 回以上のログを抽出	
t(検索開始	キャンセル

2) 下記のように指定した作業名のエラーのみが検索されますので、 「ファイル」→「保存」を クリックします。

ログ検索結果	: [パカパカ1:2007/06/16 15:49:17 ~ 2007/06/16 15:57:44] 6件	
イル(Z)		
1 付時刻	内容	タイムコード グラフ
07/06/16 15:4	19:17 honko バカバカAが発生しました D (カバカ回数累計値3)	99999999 📕 🖬
07/06/16 15:4	19:18 honko パカパカAが発生しました D (カパカ回数累計値2)	99999999
07/06/16 15:4	19:23 honko パカパカAが発生しました D (カパカ回数累計値:2]	99999999
07/06/16 15:4	19:24 honko パカパカAが発生しました Dパカパカ回数累計値10]	99999999
37/06/16 15:4	19:25 honko パカパカAが発生しました D パカパカ回数累計値:15]	99999999
	19:26 honko パカパカAが発生しました D (カパカ回数累計値17)	99999999
007/06/16 15:4	1926 honko パカパカAが発生しました [パカパカ回数累計値17]	999999999 🗧 🖬 🖬

3) 下記画面が表示されます。「はい」をクリックします。



4)指定されたフォルダ配下の作業名と同じ名前のフォルダを作成し、「OK」をクリックします。

Í	保存 ? 🔀
	CSVファイル、AVIファイルの保存フォルダを指定して下さい。
·沃	
И И	新しいフォルダの作成(M) OK キャンセル

6.3 検知結果の閲覧

1)保存したフォルダの中の「Analyzer.xls」をMSエクセルにて起動します。

Settings¥バカバカ¥デスクトップ¥honko

Settings	¥バカバカ¥デスクトップ¥honko			🞽 🔁 移
	名前 🔺	サイズ	種類	更新日時
۲	070616153311		ファイル フォルダ	2007/06/25 15:54
~	070616153315		ファイル フォルダ	2007/06/25 15:54
Ŷ	070616153326		ファイル フォルダ	2007/06/25 15:54
	Control Con		ファイル フォルダ	2007/06/25 15:54
	Contraction (Contraction)		ファイル フォルダ	2007/06/25 15:54
·3	070616153311	9,004 KB	ビデオ クリップ	2007/06/16 15:33
	@070616153311	9 KB	HTML Document	2007/06/25 15:54
×-	070616153315	9,004 KB	ビデオ クリップ	2007/06/16 15:33
	@1070616153315	9 KB	HTML Document	2007/06/25 15:54
	070616153326	9,004 KB	ビデオ クリップ	2007/06/16 15:33
	@ 070616153326	9 KB	HTML Document	2007/06/25 15:54
	070616153343	9,004 KB	ビデオ クリップ	2007/06/16 15:33
٢	🔊 🕘 070616153343	9 KB	HTML Document	2007/06/25 15:54
	070616153530	9,004 KB	ビデオ クリップ	2007/06/16 15:35
	@ 078616153530	9 KB	HTML Document	2007/06/25 15:54
	🕷 Analyzer	8,061 KB	Microsoft Excel ワ	2007/06/25 15:54
	🌯 検索結果 パカパカ1_20070616	2 KB	Microsoft Excel CS	2007/06/25 15:54

2) 下記のような画面が起動されます。



3) ログの右端の「画像」リンクをクリックすることによりブラウザが起動し、ブラウザ上でファイル再生、 サムネイルの表示が行われます。



「表示切替」ボタンで、サムネイル画像のみになります。プリントアウトなどの際に便利です。

お問い合わせ先

お買い上げいただきました弊社製品について

のアフターサービスは、お買い上げの販売店

におたずねください。

なお、販売店が不明の場合は弊社へお手数で

もご連絡ください。

故障・保守サービスのお問い合わせは	
販売店:	
TEL	
担当	

製品の操作方法に関するお問い合わせは

無断転載禁止

アルビクス株式会社

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974-1 TEL:0256-93-5035 FAX:0256-93-5038